

夫婦二人の卵子と精子で子どもが授かり 幸せな家族ができる、それが不妊治療です。



池永 秀幸 院長
馬車道レディスクリニック
神奈川県・横浜市

開院して16年経っても 強く思っているんですよ

時が経っても変わらぬ池永先生がいますが、どのようなお気持ちで不妊治療を？

開院当時と比べ、今は治療の

環境もずいぶん良くなっています。検査にしても新しい機器が登場し、インキュベーターも個別型やタイムラプス型などができ、培養液の質も向上しています。胚盤胞到達率も上がり、凍結保存の安定化で、今では凍結

環境もずいぶん良くなっています。検査にしても新しい機器が登場し、インキュベーターも個別型やタイムラプス型などができ、培養液の質も向上しています。胚盤胞到達率も上がり、凍結保存の安定化で、今では凍結

治療ではなく、別の意味での生殖医療だと思います。私の不妊治療の定義は、不妊治療を志したころ、また開院した当初と変わっておりません。それは、『不妊治療は、子どもを望む夫婦の卵子と精子で行うもので、子どもを授ければ、そこには家族の幸せがある』ということです。

その幸せへの協力ができることが、医師の醍醐味であり喜びなのです。

それを強く思っていますから、治療の工夫に磨きをかけ、患者さんそれぞれへのアプローチを大事にしながら診療しています。そして、治療費は開院当時から値上げしておりません。

自然妊娠にこだわった 不妊治療を大切にしています

先生が大事にされているアプローチとはどんなことでしょうか

私は不妊治療専門の医師として、体外受精（顕微授精含む）もおこなっていますが、つねに自然妊娠にこだわっています。なぜなら、子どもは夫婦に授かるものですから、夫婦の自然な愛情を大切にしていきたいと思っています。

なかでもタイミング療法を大事にしています。治療では、タイミング療法から人工授精か、または体外受精で行くか、この判断は検査やご夫婦の様子から早めに結果を出します。

結果、体外受精であれば、先に話したように進歩とともに、妊娠率も上がってきました。しかし、自然妊娠となるタイミング療法での妊娠率は低いままで、その低い妊娠率のなかでいかに妊娠させることができるか、それも医師としてのやりがいかと思っています。

また、妊娠のはじまりは性生活で膈内に精子が射精されること。そして子宮に入り込むことです。それができるのは排卵期ですから、このとき、子宮は精子から何らかの信号を受けているのではないかと考えています。そこで、体外受精での凍結胚融解胚移植を行うときに、一般的には禁欲を伝えているかと思いますが、私は性生活をするように伝えています。

お子さんができたら 大切に育てましょう

患者さんにお伝えしたいことはありますか？

不妊治療でお子さんが授かったら、ぜひ大切に育て、幸せな家庭を築いていって下さい。それが夫婦の願いでもあり、私の願いでもあるのです。



馬車道レディスクリニック
Bashamichi Ladies Clinic

電話番号 045-228-1680

診療科目 / 『不妊症治療全般』『不育症治療』『プライダルチェック』『子宮がん検診』

診療受付 / (月水木金) AM / 9:00~13:00
(月水木金) PM / 15:00~19:00

休診日 / 火、土日の午後

変更情報等、HPでの確認をお願いします。

〒231-0012 神奈川県横浜市中区相生町4-65-3
馬車道メディカルスクエア5階

東JR関内駅 北口徒歩5分
みなとみらい線 馬車道駅 徒歩2分

馬車道レディスクリニック

池永 秀幸 院長

Dr. Ikenaga Yukihide Profile

<経歴>
東邦大学医学部卒業

東邦大学大森病院で久保春海教授の体外受精グループにて研究・診療に従事。医局長を経て2001年に当クリニック開院

医学博士
日本産科婦人科学会専門医
日本生殖医学会会員
日本受精学会会員
日本卵学会会員
日本IVF学会 評議員
日本産科婦人科内視鏡学会 技術認定医 (腹腔鏡・子宮鏡) / 東京都難病指定医 / 日本受精学会評議員

